夕刊 臺灣日日新報 五月二十七日

大東亞戰爭に偉功 殊勳甲七十五勇士

海軍記念日に恩命 海軍關係論功行賞

【東京電話】山本元帥の悲壯な戰死公表と共に第三十八回海軍記念日を迎へ一億國民の胸米英撃ちてし止まむの決意更に新たなる二十七日燦々たる偉功を建て護國の神と化した大東亞戰爭戰死者[illegible]に對し大東亞戰爭死歿者第五回同六回並に支那事變生存者第十九回論功行賞の御沙汰あらせられ、この旨同日正午海軍省並びに賞勳局より發表された、今回大東亞戰爭死歿者行賞の有難き恩命を拜した勇士は昭和十六年十二月下旬より昨年十月下旬に至る間遠く故國を離れ萬里太平洋に、インド洋に、炎熱[illegible]を冒し、或は又支那大陸において[illegible]戰死せる將兵の一部でこの內功績抜群にして殊勳甲として優賞せられた勇士は柳本柳作少將以下七十五名である、今回の行賞で 特旨功二級金鵄勲章を賜はつた柳本少將は [illegible]艦長、軍令部[illegible]としてわが海軍[illegible]に多大の功績を誌し今次戰爭においては[illegible]艦長としてハワイ海戰を始めウエーク島、インド洋の各作戰に參加赫々たる武勲を建て[illegible]壯烈鬼神を哭かしむる戰死を遂げたのである、又殊勳甲中には 昨夏第二次特別攻撃隊としてディエゴ・スワレズ灣及びシドニー港奇襲の壯擧を敢行、多大の戰果を擧げると共に帝國海軍軍人の忠烈を克く中外に宣揚し名譽の戰死を遂げた秋枝中佐以下の十勇士も含まれてゐる、又帆足正音中尉、鷲田光男特務少尉、森愼吾曹長の三名は マレー沖海戰當日索敵機搭乘員としてシンガポールに向け遁走中のプリンス・オヴ・ウエルス以下の英東洋艦隊主力を發見攻擊飛行機隊誘導の殊勲を樹てた勇士である、この外[illegible]ハワイ空襲に或は比島方面航空戰並びに[illegible]に偉功を奏した海の荒鷲が多數光榮に浴してゐる、一方支那事變生存者行賞の恩命を拜したるものは全部內地において軍務に[illegible]將兵である

海軍省公表（五月二十七日十一時）本日大東亞戰爭海軍戰歿將士及び支那事變海軍囑託の部に對し 論功行賞の御沙汰を拜したり、今回恩命に浴したる 大東亞戰爭戰歿將士は昭和十六年十二月下旬より昨年十月下旬に至る間において太平洋、インド洋、支那大陸等の各方面にて勇戰戰死せる將兵の一部にして 殊勳甲として優賞せられたるは柳本少將以下七十五名內柳本少將は特旨に依り功二級金鵄勲章を賜はりたり

殊勳甲として優賞せられたる者

特旨功二 少將 柳本 柳作（長崎）
功四旭五 中佐 秋枝 三郞（下關）
同 同 同 仲馬 余四（鹿兒島）
同 同 同 松尾 敬宇（熊本）
同 旭六 少佐 伴 勝久（愛知）
同 同 大尉 岩瀨 勝輔（香川）
功三旭二 少將 山田 雄二（福岡）
同 中將 同 鈴木 濟（愛知）
同 旭三 大佐 柴田 海一（宇都宮）
同 同 同 相澤 [illegible]（仙臺）
功四旭四 少佐 三宅 正之（廣島）
同 旭六 大尉 金盛 貞治（東京）
同 同 中尉 帆足 正音（大分）

[illegible]

東亞本然の姿へ

青木大東亞相 南方を語る

【東京電話】日本の實力な[illegible]と現地民衆の熱烈な協力とにより南方建設は着々[illegible]の歩みが進められてゐるが、先に約一ヶ月に亙り南方地域の建設情況を視察した青木大東亞相は二十六日午後二時から大東亞省に在京外人記者團と會見、左の質問に答へて、南方諸地域が米英の壓制と搾取から解放され本然の東亞に甦りつつある現状を力強く述べた、青木大東亞相が外人記者團と會見した事は今回が初めてであり、南方諸地域の逞しい建設の躍動は外人記者團に對し多大の感銘を與へた、青木大東亞相の說明要旨左の如し

一、南方建設の目的は先づ南方を今後、戰爭遂行の基地たらしめると共に 如何なる長期戰にも耐へ得る持久態勢を確立するにあり敵の焦土戰術により破壞せられた各種生産機構は既に完全に回復せられ戰前以上の生産をなしてゐるものも少くない、又各地間の交易も[illegible]となつてをり一方內地と南方各地域との交易は特殊の機構を通じて行はれ、例へばマライの護謨を日本に持ち帰る場合には軍政當局はマライに於て公正な價格で護謨を買ひ上げこれを內地に輸送し內地に於て公正な價格で賣却しその間に利益の問題は生ず[illegible]

[illegible]

伊港灣其他に 特殊機雷敷設

【ローマ二十五日發同盟】[illegible]

日本海軍"質"の優越

米各紙悲痛な警告發す

【リスボン二十五日發同盟】[illegible]

海鷲の活躍、米驚愕

アッツ島戰況、ノックス告白

【ブエノスアイレス二十五日發同盟】[illegible]

水上機動部隊活躍

【洞庭湖畔〇〇二十六日發同盟】[illegible]

堂々沙市沖に投錨

揚子江艦隊、陸軍部隊握手

【〇〇基地二十五日發同盟】[illegible]

覺悟 [illegible]

困難 [illegible]

投彈 [illegible]

苛烈、大規模爆撃戰

一夜に空蔽ふ五百餘機

【ベルリン二十五日發同盟】[illegible]

著しく大規模 [illegible]

[illegible]「空中地雷」[illegible]

五州に亙る米中部の水害

罹災民十六萬 損害二億弗

【ブエノスアイレス二十五日發同盟】[illegible]

超短波で [illegible]

一層高速度 [illegible]

獨軍の攻勢激化

東部戰線主動性握る

【ストックホルム二十五日發同盟】[illegible]

クバン赤軍總崩れ

【ストックホルム廿六日發同盟】[illegible]

專門學校教育 刷新委員會

【東京電話】[illegible]

南伊來襲敵機 撃墜二四五

【ローマ二十五日發同盟】[illegible]

ヴエリキエルーキ 獨軍奇襲大戰車戰

【ストックホルム二十五日發同盟】[illegible]

伊空軍長驅 スーダン港空襲

【ローマ二十五日發同盟】[illegible]

烈々日本海軍精神

佛朝野擧つて讃歎

【ヴイシー二十五日發同盟】[illegible]

海戰樣相の變遷（下）

生産と精神力の戰

海軍中將 井上繼松述

沈まぬ母艦 わが飛行機は支那事變中の渡洋爆撃で非常な自信を得た、日本に相當遠い根據地から敵の所在を知るかぎり出て行つて必ず爆擊することになつた、その結果飛行機根據地の利用が航空作戰の主要な要素となつて來た、飛行機は何も航空母艦から出なければならぬことはない、航空母艦から出す飛行機は型が小さい、もし相當大きなものを積むとすれば何隻も積めない、相當數を保有する場合にはどうしても型が小さくなる、それでは遠くへ飛べない、遠くへ飛ぶためにはどうしても陸上基地を用ひなければならぬ、ここで基地の利用といふことを日本が先づ着目して非常な進歩を遂げ航空母艦に[illegible]大變化をした、これがどのやうに現はれたか、極手近なところからいふと、南方諸島を約三ヶ月位で完全に戡定したことである、[illegible]

基地の推進 であつた、即ち開戰と同時にまづマニラ附近を空襲して短時日の間に比島方面における敵の飛行機を撃滅し、さらに進んでセレベス、ジャワ等遠く南方海面における敵の航空兵力を撃滅して空中をわが支配下に置くに至つた、空を支配すれば陸戰が相當たやすくなることは支那事變で日本が深く經驗したところで、[illegible]

敵は濠洲を 根據地として これが奪回を企圖してゐるが、これに對して敵の交通路遮斷にこの飛行機がいよいよ活躍するのは當然である、[illegible]

沈まぬ母艦 であるから如何なる大型の飛行機といへども收容出來る、ただ陸地は動かぬだけである、したがつてこれが多數にあれば母艦が動いたと同じ效果を發揮する、[illegible]

制空權を獲得 [illegible]

戰爭歸趨の重要素 [illegible]

潛水艦に對す [illegible]

生産の競爭 [illegible]

生産競爭 [illegible]

國民精神の [illegible]

人間の勞働力 [illegible]

卓越したる [illegible]

國民精神の強弱 [illegible]

戰爭が長く [illegible]

人事

▲木村武氏（[illegible]）空路來北（鐵道ホテル）
▲中尾[illegible]氏（[illegible]）來北（鐵道ホテル）
▲[illegible]氏（[illegible]）香港より來北（鐵道ホテル）
▲高橋久男氏（臺灣セメント[illegible]）廿七日來北（鐵道ホテル）
▲横井太郎氏（臺灣セメント取締役）來北（鐵道ホテル）

鼻の惡い人は
—必ず頭が惡い—
●手輕に治したい方へ無代進呈
[illegible]

決戰下の海軍記念日

燃ゆ敵撃滅の決意

繰展ぐ雄渾海の進軍

大らかな朝は明け、ここにわれ等は大東亞戰下、感激に輝く歴史の日を迎へた、廿七日は第三十八回海軍記念日である、天空を彩つてはためく大軍艦旗を仰ぐ國民の胸は米英撃滅の決意に燃えて山本元帥の戰死を悼む裡にも開戰以來の赫々たる大戰果に血を沸かせ、無敵海軍への感謝を新にさせた、この日臺北の街は日の丸と軍艦旗で彩られ、必勝の決意を固める曉天動員に早朝から[illegible]敵撃滅の祈願をこめて神社に詣でる市民の敬虔な姿が見られ、勇壯な軍艦行進曲を合圖として決戰下に迎へる感激深き記念日行事は繰ひろげられて行く、臺都では奉公壯年團、各青年團の曉天動員が午前五時を期して決行され、一般市民も早朝から續々と参詣[illegible]

社、護國神社に參拜、午前十時からは護國神社で官民多數參列して記念式典が執行された又東本願寺によつて臺北海軍武官府構内に祀られた故山本長官の英靈の前に額づく市民の群は午前八時からきびすを接し一方海軍武官府には赤誠こめた國防獻金や慰問袋を携へた市民が列をなして續き、この日の臺都は海軍一色に塗り潰ぶされた、午後は武勲に輝く海鷲の大編隊飛行、[illegible]市民の血をたぎらすうち記念日行事たる武裝行進、音樂行進、旗行進が開始され、無敵海軍萬歳の聲は天地に轟き市街は夜目にはためく軍艦旗一色にいろどられた

熱血の曉天動員

神前に必勝を祈念

奉壯團　[illegible]る山本元帥が[illegible]一死以て[illegible]米英[illegible]記念日に當り臺北市奉公壯年團では午前五時半[illegible]

青年團　臺北市の六十七青年團は[illegible]

白衣の勇士に慰問金品續々

臺灣水利組合聯合會臺北州支部では白衣の勇士慰問に[illegible]二十四日[illegible]金二十圓を陸軍病院に贈つたが同日婦人甲部支會[illegible]金五十圓の慰問金が屆けられた、又二十五日には臺北市新榮町[illegible]テルさんが[illegible]

塗りつぶす海軍色

基隆　【基隆電話】大東亞戰下、決戰下の海軍記念日を迎へた海都基隆市では故山本元帥戰死の新しい[illegible]切なる祈り[illegible]十二萬市民の敵米英への敵愾心は皇國の興廢を一戰にかけた日本海海戰を新に想起し、[illegible]

新竹　【新竹電話】二十七日の海軍記念日[illegible]

宜蘭　【宜蘭電話】宜蘭市では午前六時[illegible]

海の勇士へ

可憐な乙女達が慰問品

[illegible]

廿九日、賞賜物件の傳達式　[illegible]二十九日午前十一時市三階會議室で擧行する

[illegible]獻金した（寫眞は家政女學校生徒の献納）

【寫眞は飛行機に乗り込むヨイコたち】

"僕も荒鷲"の誓ひ

佳き日、天翔ける學童

アメリカ本土爆撃はわが天かける少年の手でと國民學校のボク達・ワタシ達の航空思想普及を圖る[illegible]第三十八回の輝く海軍記念日を迎へた二十七日午前九時半から臺北飛行場で擧行された、[illegible]

◇林金泉君（[illegible]國民學校六年）—[illegible]

◇池田忠君（臺北市[illegible]國民學校六年）—[illegible]

◇大森[illegible]さん（臺北市[illegible]國民學校六年）—[illegible]

◇結城ハナ子先生（臺北市[illegible]國民學校）—[illegible]

空へ、大空へ！

宣傳文を撒布

[illegible]「我等の記念日—僕等の翼、空だ、大空だ」との[illegible]

山岸臺東廳長勅任官待遇

[illegible]

中平、中村兩氏離京

【東京支社電話】中平[illegible]二十六日離京した

【寫眞は上正男上等兵、下[illegible]子さん】

帝國海軍萬歳

海軍武官府へ、獻金殺到

[illegible]

臺北海軍武官府の祝賀式

[illegible]

失明勇士に心の灯

軍國乙女の純愛結婚へ

一身　[illegible]

話題　[illegible]

夫と　[illegible]

空を壓す大編隊

軍民融和の陸上競技

[illegible]

帝都　【東京電話】今日ぞ迎へた第三十八回海軍記念日[illegible]

喜こびの爆音聞くまで ぢつと立盡す慈愛

前線基地に於ける故提督

【東京電話】[illegible]

講演と音樂映畫の夕

[illegible]

坊やも伏し拜む

故元帥の遺影へ拜禮續く

[illegible]

初の參與打合會

内地在學生連絡部の新設

[illegible]

母の訓して慰勞金を獻金

[illegible]

ヨイコの赤誠

[illegible]

見舞金を獻金

[illegible]

産業試驗に九十一名合格

[illegible]

デング熱の撲滅へ積極運動

[illegible]

國土防衛に感激美談

[illegible]

横須賀軍港　[illegible]

臺灣青年讀本

近日中に發行

[illegible]

謝禮金を空の防人へ

[illegible]

一日から勤報青少年冬季訓練

[illegible]

今夜の番組

[illegible]

明朝の番組

[illegible]

後三國志

（出師の卷）

(107)

吉川英治作

矢野橋村畫

出師の表（二）

[illegible]

防空、防火、爆風除に鐵兜ヶ防毒面併用の出來る

防火覆面

帝國防火研究所

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

敵の三萬殲滅目睫
重慶最强を誇る江防軍

【湖南前線○○二十七日發同盟】北進部隊に相呼應し○○方面において殲滅戰に邁進中の○○部隊は廿四日未明折からの豪雨を衝いて敵前渡河を決行、息もつかせず敵第十八軍（江防軍）十一、十八、第三十四の三個師を猛攻、敵が○ヶ年の日時を費して構築した敵の野戰陣地を反復猛攻撃しこれを潰滅せしめつつ巴山山系の峻險を突破し同日午後二時三十分南岳山前面に進出、敵約五千は堅固なる火點に據り頑强なる抵抗を試みたが○○部隊の猛攻はよく功を奏し同四時四十分これを占領した、一方これに相呼應し○○部隊は同三時半漁家坝に據る敵約八千を包圍、これに急迫して敵に潰滅的打擊を與へ既に急追同日夜、紅南山（漁家坝西南方）の敵陣地に夜襲を敢行、敵第十一、十八師主力は早くも總崩れとなり江防軍三個師三萬の包圍殲滅は目睫に迫つた

【湖南○○二十七日發同盟】重慶軍が最强精鋭を誇る江防軍（第十八軍）は司令官吳奇偉の下に軍長方天を頂き十一、十八、第三十四の三個師三萬を擁する虎の子部隊で去る昭和十六年六月のわが宜昌進攻作戰以來宜昌前面の防衛强化に狂奔し敵線の守備陣地を構築、背後の巴山山系の峻險と相俟つて難攻不落と呼號してゐた、然るに皇軍一度渡河猛攻を敢行するや敵の陣地は忽ち潰え敵の豪語もどこへやら、司令官吳奇偉を始め軍長方天、十一、十八各師長の首腦者は多數の要塞砲及び陣地を棄てて○○方面へ逃走した、置き去りにされた三個師三萬は、わが鐵槌下に潰滅されんとしてゐる

【湖南前線○○二十七日發同盟】江北宜昌方面作戰を開始するや二週間にして敵第十、第二十九集團軍主力を撃破した中支派遣軍は敵が周到[illegible]して津市、澧縣方面の敵[illegible]北岸[illegible]よりも[illegible]○○方面より宜昌西方[illegible]兵力を集中するや[illegible]官昌方面より[illegible]の攻勢を敢行、早くも同日中に南岳山（宜昌西南十粁）、漁家坝（宜昌西南八粁）の各要衝を突破、なほ進撃を續行中で前面の敵軍が最强を誇る江防軍十一、十八、第三十四の三個師三萬はわが包圍攻擊を受けてゐる

【湖南前線○○二十七日發同盟】二十二日敵最大の要衝[illegible]を占領した○○快速部隊は引續き敵を潰滅、○○方面へ一路北進し二十五日夕刻[illegible]を渡河して○○附近へ進出、○○方面の敵退路を遮斷した

江南來襲敵機
また一機擊墜

【湖南○○前線二十八日發同盟】去る十九日小梅にもノースアメリカン二機をもつて江南戰線へ飛來、我が荒鷲の熾烈なる邀擊に依つて一機擊墜された、在支米空軍は性懲りもなく二十五日再び四發爆擊機一機をもつて宜昌方面上空を窺はんとしたが我が的確なる防空砲火に依つて又もや一機を擊墜され[illegible]

[illegible]○○メートルをとつた敵機大型機[illegible]た、卽ち二十五日午前十一時頃[illegible]機二機は宜昌方面の上空に出擊[illegible]し爆擊せんとしたが[illegible]

恐るべき日本の重慶進攻作戰
重慶外交代辨者の泣言

【桑港二十七日發同盟】今次日本軍の中支揚子江上流における新攻勢作戰に依つて重慶の首都重慶[illegible]うけられた重慶政權はこれをもつていよいよ日本軍の重慶進攻の[illegible]前觸れなりと判斷し大[illegible]を極めてゐる、ワシントン會談と睨み合せて盛んに救助信號を發し米の援助[illegible]を賴むとなつてゐるが重慶外交代辨者は偶々二十六日の記者會見で「日本軍は今や恐るべき重慶進攻作戰を開始した、これは日本の[illegible]カサブランカ會談の責任[illegible]だ」と敗戰の責任を他に依つて米英に[illegible]

[illegible]を入れず我が[illegible]の[illegible]火[illegible]れ[illegible]（宜昌西南三十五粁）北方三[illegible]の山中に[illegible]した、敵は[illegible]ヨーク紙のマークが報ぜられた[illegible]の[illegible]等には明らかにニユ[illegible]者の[illegible]のまま[illegible]してその[illegible]その他を[illegible]し目下[illegible]り調べ中であるが六名の米人[illegible]

大にして重慶の危機を[illegible]してゐる、要旨左の通り

目下宜昌南方で行はれてゐる日本軍の攻勢は支那問題を解決せんとする日本の恐るべき試みだ、從來日本軍は四川省には足を踏み入れなかつた、しかし今や重慶への西方進攻は開始された、他の占領地域に比べて最も重慶に近接せる地點まで到達した、この日本軍の攻勢こそ全くカサブランカ會談の責任である、卽ち米英が[illegible]等閑に附した事が重慶包圍殲滅への機會を日本に與へてしまつたのだ、若しこの狀態がこの儘續けば日本は思ふ存分大陸戰線で活動することが出來る、ヒトラー一派[illegible]まで反樞軸國が東亞攻勢を愚圖々々してゐれば重慶を救ふことは全く手遲れとなるだらう

賞與で國債を購入
定例次官會議で申合せ

【東京發】二十七日の定例次官會議は午前八時より首相官邸に開會、昭和十八年上期賞與の一部をもつて國債、貯蓄債券又は報國債券の買入申合せに關し提案あり各次官とも異議なく各官廳においてその實行方を申合せ、同八時四十五分散會した、尙その內容については大藏省國民貯蓄局より詳細發表されるが民間においてもこれに倣ふやう當局では希望してゐる

各人別の支給標準

【東京發】決戰下における國民貯蓄の增强乃至國債消化の促進の見地から給與の源泉において國債の買入をなさしめることが最も效果的なるに鑑み大藏省では昭和十三年以來引續き賞與國債支給の實行を求め多大の效果を收めて來たが、愈本年上期賞與の支給も近づいた

[illegible]で國民貯蓄目標額二百七十億圓達成のため一段とこれが普及徹底を圖り銃後國民の重大責務達成に邁進することとなり二十七日の次官會議において各官廳においても萬己むを得ざるものの外必ず所定割合による國債買入を斷行するやう申合せを行ひ同日各地方長官に對しても各人別支給標準その他本年上期賞與國債支給實施要綱を通牒したが、これが具體的適用については各職域並に賞與受給者の實際を十分勘案し自己所有の家屋等より收入するもの、扶養家族なく且つ父兄等より扶助を受けるもの等に對しては增率し扶養家族の特に多いもの、家族中に病者、不具廢疾者あるもの等に對しては減率を用ひる等の斟酌が行はれること[illegible]となつてゐる、國債（國民貯金を含む以下同じ）貯蓄債券又は報國債券の支給標準は左の如くである

賞與額（手當を含む）	國債貯蓄支給標準 扶養家族ある者	扶養家族なき者
百圓以下	賞與額の一五%以上	賞與額の三〇%以上
二百圓以下	二〇%以上	三五%以上
五百圓以下	二五%以上	四〇%以上
千圓以下	三〇%以上	四五%以上
千圓を超ゆるもの	三五%以上	五〇%以上

綜合科學研究所
マカッサルに創設す

【マカッサル二十七日發同盟】海軍占領地域における戰力增强、民生安定、經濟開發、原住民指導等に對する當面の各種行政方策の樹立に當り學術的研究及び調査の必要は各方面から要望されてゐたが現地當局は今回右の綜合研究所設立に決定、二十六日當局談をもつて左の如く發表した

一、海軍民政府は今回綜合地域等に必要なる基本的事項を調査研究し南方建設の根本對策樹立に資すると共に速かに南方地域に於ける諸般の技術の向上を期すべくマカッサルに維新なる綜合科學研究所を創設した、同研究所は現地にある各種試驗所等を整理統合すると共に內地、ジヤワ、昭南その他廣く大東亞全域の各種研究所と緊密な連繫を取り、一元的綜合的な南方研究を强化し有機的な南方調査に一步を劃するものである、研究所の組織は海軍民政府に屬し所長（司政長官）の下に研究員若干名を配し、總務、地質、鑛物、陸容を構し、農林、水產、熱帶衞生、民族學研究等の六部及び化學藥品その他醫療品製造、並びに熱帶衞生及び技術等の試驗研究を行ひ、又各部に夫々必要に應じ試驗所等を設置することとなつてゐる研究員は廣く學界から有能の人材を集め學術に優せる實力に重點をおいて嚴選すると共に過般南方各地の資源調査隊員中から選拔することとなつてゐる

重要なる調査研究事項は地質、鑛物、農林、畜、水產、熱帶衞生、化學、生物、民族、歷史、地理、民俗、土地制度慣行その他民治經營上必要なる基本事項である

內務辭令

【東京發】內務省辭令（二十七日）

任長野縣內政部長（三）　熊本縣經濟部長　高橋　孝吉
（兼官經濟部長）　元山製鐵所總務部長
任熊本縣經濟部長（三）　西岡　太郎
任熊本縣內政部長（三）　島根縣內政部長　白石　喜太郞
依願免本官

米陸軍損害發表

【リスボン二十六日發同盟】ワシントン來電＝米國陸軍省は戰爭以來米陸軍の被つた兵員の損害につき二十六日次の如く發表した
死者一三、六二〇、負傷者一八、二九九、行方不明三四、〇二六、捕虜一七、八一九、合計八三、七五六

臺灣關係陸軍論功

【東京發】陸軍論功行賞（第○次）

瑞八	陸	秋	富
旭八	嘉義	市	濃
瑞八	[illegible]	士	[illegible]

[illegible]

一、[illegible]を設け且つ從來のノート制を廢し文部省指定の教科書を作成し授業の能率を高めよ
一、平和產業に關係ある學校[illegible]科の如きに對してはこれが內容を再檢討し直に戰時日本の生產力增强に必要なるべく轉向さすべし
等であつたが、これら意見は近く文部省內に設置される專門調查委員會に付託され、これが決定の上は明年四月より實施される方向である

一、具合に分野を定めよ
一、最近急速に進展せる工業界の實情に鑑み工業界と連絡をとり一年の內三ケ月以上は工場に勤務させる等、工場實習を確立すると共にこの實習を以て工場の人的不足を補充すべし
一、從來の如く技術者に必要な學科習得のみではなく皇國精神に基く修練制を確立、健全な國家觀を堅持する人材たらしめることを主眼とし將來工場に出た際率先工員を統率し得る見識を

船員援護會を設立

【東京發】皇國たる大東亞水域の確保交通に挺身する海の戰士達の後顧の憂ひをなくするため遞信省では船員援護會を設立して殉職船員の遺族、公務による傷病、船員及びその家族、遺族並に現に船員たるものの家族等に對する各種の援護事業を實施すべく二十七日午後四時から遞相官邸で手島次官、松木海務院長以下關係官及び造船會から船舶運營會、內閣、大藏、陸、海、厚生、農林大東亞各省次官、宮田海務院國際理事官

大谷船舶運營會、清水日本海運報國會會長等が參集、これが設立に關する相談會を開催して設立準備を決定した、この援護會は去る一月二十六日の閣議で決定した「船員の待遇に關する件」の趣旨に沿いて社團法人として船員有志等の基金による社團法人として民間の有志の寄附を求め船員の生活擁護、醫療、慰安、身の上相談、家事相談、船員援護思想の普及その他目的遂成に必要なる活動を行ひ事務所は當分の間海運會館に置き役員には總裁、會長副會長、理事長又々一名を會長、常務理事、理事、監事、評議員若干名を置き地方には道府縣單位に支部を設置し支部長（一名）、委員若干名、常任委員、評議員の役員制とする、今後は船員援護の中枢を同援護會に置き全國的に統制ある活動をなすため既存船員援護團體にして同會に参加せしめるのが適當とするものはこれを統合し統合困難なるものでも事業遂行は同會と有機的連繫を保たしめ外郭たる船員援護團體の設立は原則としてこれを認めない方針である

全國高工校長會議
技術者養成熱烈な意見

【東京發】全國官公私立高工校長會議は二十六日午前八時半より文部省に開催、永井文部政務次官以下關係各課長及び村上京都高等工藝學校長外四十六校長、外地より京城高工外三校長出席、戰時下生產力に緊密な關係を持つ高等技術者の養成につき熱烈な意見が取交された、卽ち論議の中心は

一、高工の性格及び目標に關しては研究、企畫方面は大學に委ねるも現場技術者は高工にと言ふ

日獨の締盟に功績
オツト前獨大使近く歸國

【東京發】オツト前ドイツ大使はいよいよ近く歸國の途に就くこととなつた、今年一月任を辭するまで十年間の長期間に亙りオツト大使が駐日大使館附武官及び大使として日獨國交强化に盡して果した役割は大きい、歐洲の盟主たるべきナチス・ドイツへの理解を深め昭和十一年には駐在武官として日獨防共協定締結に盡力歐洲戰發後はいよいよ日獨同盟としての契りをいよいよ深め、昭和十六年末には歷史的な軍事同盟が日獨伊の間に締結されて大東亞戰下共同の敵擊滅のため日獨兩國は完全に一體不離の關係に立つたことはわれくの記憶に新たであるがこの際にオツト大使の不朽の功績が認められてゐる

ことは忘れてはならない、又締盟一ケ年を經たに過ぎぬ本年一月日獨間に經濟協力に關する協定が成立した事は大東亞、歐洲の兩新秩序の劃期的建設を示す未曾有の世界的協力の具現であり在日十年の同大使の治績の掉尾を飾るにふさはしいものである

嶋田海相必勝祈願
全海軍を代表神宮參拜

【宇治山田發】三笠艦上に歷史のＺ旗を仰いだ日本海大海戰勝利の日大東亞戰下再び繞り來つたこの意義深い歷史の日、午前八時四十五分海軍大臣嶋田繁太郞大將は全海軍を代表して親しく伊勢の神宮に參拜、米英擊滅の祈りを捧げ同時刻には勇戰奮鬪する全海軍將士も亦一齊に神宮を遙拜するのであつた、この朝八時十五分嶋田海相は大原秘書官、杉江少佐、安在神宮司廳官房主事等を從へた嶋田海相は大原秘書官の先導で清め潔められた宇治橋を渡つた、海で鍛へた頑丈な嶋田海相は旭日颯爽を併用陽に灼けた逞しい顏に太く書いた眉が一入印象的で逞しい、やがて皇大神宮の大御前內玉垣御門の御前に畏しく

立つた海相の巨軀は身じろぎもない、武運に輝く奉する飛行機の爆音が微かに聞えるばかりである、玉串を捧げて祈る嶋田海相の巨軀が額づくばかりに前に折れた二分、三分その祈りは長く長い、だがこれは海相一人の祈りではないのだ、太平洋の眞只中にインド洋の荒波を蹴立て、敵艦隊に迫り立つた全帝國海軍將兵の祈り、その祈りがこの三分間を通して海相の祈りは長くくつ眞つたのであつた、大東亞戰下の勝海軍を擧げて祈る嶋田海相の祈りはめられたものであつた、嶋田海相は引續き荒祭宮に參拜後宮大御前に必勝御祈願の祈禱を終へた海相は引續き荒祭宮に參拜、御神樂を奉納、更に豐受大神宮に參拜して退下、次で外宮に向ひ同樣參拜を終へた

帝國海軍に祝意
獨海軍長官より

【東京發】デーニツツ獨海軍長官はわが海軍記念日に際して二十七日帝國海軍に對し左の如きメツセージを寄せた

第三十八回日本海々戰記念日に際し余は獨海軍の名において大日本帝國海軍に滿腔の祝意を表す嘗ての海戰に輝くこの世界的大勝は日本國民に與へられたる最大無比の使命を

全國民の敢鬪力と不撓の意志に依り見事に克服せることを全世界に示したるものなり、しかも今や吾人は日本海軍の卓越せる作戰指導振りと敵の現はる所如何なる敵をもめずこれを擊滅せずんば止まざる日本海軍の偉大なる戰鬪力を眼前に直視し感嘆措かざる所なり

われ等ドイツ海軍は今次の世界新秩序建設戰爭において光輝ある日本海軍と海洋一體海上における同志戰友の誓を堅持し得るを無上の光榮とす、敵の海軍及び商船隊並びに空中に對する戰鬪における幾多の輝かしき戰果と戰力並びに兵の如き戰鬪精神に對する絕對不拔の相互信賴こそ最後の戰勝をわれわれが頭上に齎すものに外ならず、日本海軍の光輝ある戰勝記念日に當り余はここに重ねて大日本帝國海軍の戰友諸君に滿腔の祝意と敬意を表す

故山本元帥
國葬の諸儀式
五日午前十時斂葬の儀

【東京發】故山本元帥の國葬諸儀式は海軍記念日の二十七日午後二時執り行はれた墓所地鎮祭の儀を皮切りとし次の如き日取で執り行はれることとなり同日午後葬儀委員より發表された、尚六月一日から四日までは官民各界代表者の御通夜が行はれ五日午前十時日比谷公園內祭場において斂葬の儀が行はれる筈である

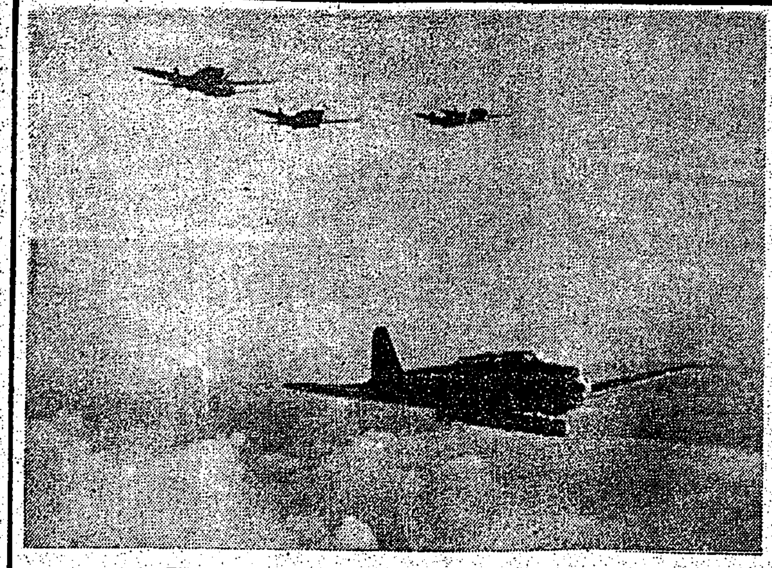
故山本元帥國葬日割
五月二十七日午後二時　墓所地鎮祭の儀
六月一日午後三時　正寢移柩の儀
六月四日午後二時　賜誄の儀
同日午後四時　墓所祓除の儀
同日午後七時三十分　靈代安置の儀
六月五日午前七時　斂葬當日柩前祭の儀
同日午前八時五十分　靈車發引の儀
同日午前十時　斂葬の儀の內葬場の儀
同日午後四時　同墓所の儀
同日午前十一時　正寢祓除の儀
六月六日午前八時　斂葬後一日權舍祭の儀
同日午前十時三十分　斂葬後一日墓所祭の儀

鹽澤幸一海軍大將
國葬の司祭長仰せ付らる

【東京發】故山本元帥の國葬は六月五日日比谷公園において執行はれるが右國葬の司祭長として鹽澤海軍大將、司祭副長として吉田光長氏が二十七日附を以て夫々仰せつけられた

故元帥海軍大將山本五十六葬儀司祭長被仰付　海軍大將　鹽澤　幸一
故元帥海軍大將山本五十六葬儀司祭副長被仰付　吉田　光長

【寫眞は鹽澤海軍大將】



一發必中雷擊機部隊（海軍航空本部提供　海軍省許可濟第一〇一號）

此の決戰で戰局決る
海軍記念日　矢野報道部長放送

【東京發】輝く第三十八回海軍記念日の二十七日夜大本營海軍報道部長矢野英雄海軍少將は午後七時半から約二十分に亙り「決戰下海軍記念日を迎へて」と題し東京放送局から全國に放送を行つた、矢野少將は山本元帥が長官の身を以て親しく空の第一線に出陣したることによつても麾下の航空決戰が如何に熾烈であるかが窺ひ知ることが出來る「空より來る敵は空において、海より來る敵は海において擊滅すべし」と說き我々決戰に全國民が益々敵擊滅を祈願して打つて一丸とする必勝信念の下に米英必滅の一途に邁進せんことを强調した

決戰下海軍記念日を迎へて

日本海々戰において東郷元帥麾下の帝國海軍が能く曠古の大捷を博したる所以は實に「大御稜威を輝きましたる東郷元帥以下全將兵が盡忠報國の赤誠と旺盛なる精神の一心に燃え唯水漬く屍と誓戰したからである、大東亞戰爭においても帝國海軍の將兵は陛下の股肱精神を以て日夜奮戰してゐるが茲に聯合艦隊司令長官山本元帥の崇高なる戰死となつたのである、元帥の戰死は指揮官先頭「見敵必殺」なる帝國海軍の光輝ある傳統が牢然として茲に結つたものであり大東亞戰爭における「Ｚ旗」である、元帥は航空決戰の陣頭に立し

各員粉骨碎身その任務を完うせよ

と訓示せられた、日本海の海戰に三笠の艦頭高く掲げられたあの「Ｚ旗」がロシアの東洋艦隊を一擧の下に粉碎したる如く山本元帥が身を以て南太平洋の大空に掲げられたる「Ｚ」が不日米英の世界制覇の野望を悉く擊碎することは疑ひを容れないのである、世界戰爭の天王山は正に今年こそは決戰の年であることを

痛切

に感ぜしめるのであつて帝國は獨伊と緊密なる連繫の下に邁進して敵米英に對し國家、民族の興廢を賭しその總力をこの一戰に傾け屍山血河の激戰を展開してゐるのである、先づ太平洋戰においては今春以來日夜間斷なく熾烈なる航空決戰が展開されてゐるのであつて山本元帥が長官の身を以て親しく空の第一線に出陣、作戰全般の指揮を取られたことの一事を以てしてもこの航空決戰が如何に熾烈を極め山本元帥の最前線出馬を見るに至る程空決戰せられる所以は緖戰の大敗より漸く立ち直りたるアメリカがわれに決戰を求めて先づ太平洋上における必要なる基地の確保に乘出したる

結果である、既に北アリューシヤン方面においては去る十二日アメリカ軍の一部兵力は有力なる水上艦艇及び航空部隊の掩護下にアッツ島に上陸し我が同島にあるわが軍は寡兵よくこれを邀擊し死鬪相搏つ激戰を交へてゐる、これより先同島に對するアメリカ空軍の襲擊は今春三月頃より漸く熾烈となり同月中には延機數二百八十七機四月中には八百六機、上陸作戰直前の五月上旬には實に五百五十九機に達した、今次の米軍のアッツ島上陸はその目的は北方よりする帝國本土進攻の企圖にあることを示してゐるものであつて一瞬の油斷を許さざるものがある、一方南太平洋水域においても

彼我

の航空戰は依然として熾烈を極めてをつて三月中の來襲は百七十八回、延機數千九百二十一機、四月は百九十二回、千七百四十七機に達し五月に入るや上旬のみで五十九回、五百九十八機に及ぶ狀況である、而してこの方面に對するアメリカの反攻は勿論わが占領地域の奪回を企圖せるものであると共に來るべきその航空基地を前進せしめて海上兵力、陸上兵力の推進と相俟つて帝國本土攻略を企圖してゐることは一點疑ふ餘地なきところである、大統領ルーズベルトは「日本に攻め上る道は一つではない」と豪語して反攻態勢を整へてゐる、卽ち一方ガダルカナル島及びニユーギニヤ地區東部の前線基地の增强に努め航空機による反攻を熾烈にしてゐる、これに對し帝國海軍は陸軍部隊と協力し航空部隊、海上部隊、地上部隊相呼應して敵の蠢動を阻止してゐる、その前線基地の強化に不斷の努力を與へ冶々戰果を擧げてゐるのである、又アメリカは支那大陸よりする帝國本土空襲の企圖をもつて依然在支米空軍の強化に狂奔すると共に在印度米英空軍の增強によつてビルマを奪回しビルマルートを開設せんと企圖してゐるが帝國陸海軍の擊擊により米英軍がアラカン地方の一戰に大敗を喫した結果未だに成功を見なかつたのであるが、然しながらこれをもつて在支米空軍の

蠢動

又は米英印度軍の北上反攻企圖を輕視するが如きは絕對に愼むべきである、これを要するにわ

が占領地域における各決戰基地の爭奪に絡まる空海の關係によるもので決戰中の航空戰と海上戰の帶同と陸上の確保によつて海上の勝敗を決定することになる重大な決戰の時期に外ならぬ、卽ちこの決戰こそ太平洋戰局の將來を決定するのみならず大東亞戰爭ひいては世界戰爭の將來を決定するものである、次に歐洲戰局に目を轉ずると東部戰線においては獨ソ兩軍は満を持して放たず北阿チュニジアにおいては獨伊兩軍の壯絕な奮戰を盡したにも拘らず遂に米英軍の八ケ月に亙る猛攻はよく戰況を一大轉換させしめ獨伊の歐洲作戰は却つて益々緊迫し歐洲の自由の防衛に邁進せんとする決意を益々固くその戰意は一段と强化しつつある狀況にある、獨英は依然として米英の對英空襲を逞しくしつつあり、又獨潛水艦の對米英交通破壞戰は依然として米英に深刻なる打擊を與へつつある、斯くの如き狀況より米英及び歐洲の戰局に對して米國は今十二萬五千噸を目標として船舶建造に努めつつ既に月產七千機に迫せりと豪語する有樣である、その傍ら英國の誕生を强化し將來の飛躍的

企圖

して海戰遂行を期し[illegible]英國の飛行機生產を擴充し將來比の飛躍的增强を要望する

は既に去る十年の苦心慘憺を經ち

月のみでも今年既に三萬人の船員を犧牲にしつつある、一方敵側の計畫實施しつつある、一方獨逸の建造狀況においては昭和十五年度成立した第三次ヴインソン案及び大西洋、太平洋兩洋艦隊建造計畫、阻止後成立した第一次、第二次、第三次建艦計畫の全部八百七十隻、三百三十九萬噸の建造計畫がその能力を擧げて遂行されつつあり既にその內相當數のものは就役、戰線に出現してゐる、船舶の建造においても亦今年度二千萬噸完成を目標にその工程を急ぎつつある狀況である

アメリカが斯くの如く航空兵力、海上兵力及び船舶の增强に狂奔しつつある所以は優勢な兵力をもつてわれを壓倒せんと企圖してゐるからである「空よりの敵は空において擊滅すべく海より來る敵は海において擊滅すべし」帝國としてもこれに備へて航空兵力、海上兵力並びに船舶を增强しつつあり國民が心血を注いでつくり上げた各種の新銳機は續々出陣し新銳艦艇も有力なる新鋭艦も堂々の英姿を海上に浮べてゐるのである、然しながら敵も亦國運の如き懸命の增强に努めてゐるのであるが故にわが方も亦これに對抗する必要がある、これがため生產戰においても一段の努力を要するのであるが

日露

戰爭當時我らの先輩は戰前既に十年の苦心慘憺を經て

しその總力を戰爭の一點に集中せられたればこそ曠古の大捷を得たのである、顧みてわれわれは現在の戰爭とし、只前途あるのみである、必勝の信念を堅持して邁進するのみである、古來日本人一人一人を以て戰はば決勝に到達すべき必勝の大會を拜せしや陛下が全軍に告げし「山本元帥は必勝を期して大東亞戰の陣頭に立ち敢然戰陣を死を以て我が國の大任を全うせり」と示されたる聖旨を拜して陣頭に立つて悲壯の決意を新たにし世界の下一致邁進してゐる、今こそ「皇國の興廢この一戰にあり」の決意を固くし光榮ある海軍記念日を迎へ全國民は必勝の信念をもつて一億の覺悟の一途に邁進せんことを望む次第である

人事

▲森田俊介氏（州知事）　二十七日新竹州より來北（鐵道ホテル）
▲三谷寅三郎氏（臺灣セメント專務）　來北（鐵道ホテル）
▲內海忠司氏（前臺北州知事）　十七日來北（同）
▲今井愼一氏（臺灣合同電氣社長）　勝士の五氏　同上
▲川崎二三郎氏（臺南州カフェータリヤ社長）　二十七日來北（鐵道ホテル）
▲曾伊女氏（臺灣經濟研究所長）　來北（同）
▲年田以文仁氏（明治製糖重役）　來北（同）

けふの官報

▲府令　昭和十七年府令第二十號中改正
[illegible]府令第九號中改正外一件、都市計畫北港、溪北、沿革生活地區の指定、臺中州大田村に於ける外三件、八號、明水利組合區域變更認可、竹ベルグの路面指定

戰ひ拔かん大東亞戰
貯蓄の保險
相互組織　千代田生命

工員養成
校長　陸軍中將　松浦善助　○年齡不問六ケ月卒（每月開講）
機械科　旋盤仕上部　機械製圖部
○本科（三ケ年）普通科（一ケ年）高小卒
女子製圖科
電氣熔接科
（麴町區要町）第一校舍＝本所區錦糸町　第二校舍＝目黑區自由ケ丘
東京工業技術學校

ラジオ技術者養成
（無線大會社）

治療師養成
鍼灸・電療
東京市目黑區〓〓一ノ二〇　東京鍼灸醫學校

中央大學教授　杉本秋男著
原價計算總論　A5判五五〇頁　價四・三〇
本書は原價計算の本質・その目的・その計算的特質並び根本的諸問題・その理論・方法・構造等、原價計算に於ける根本的諸問題に就て深き考察を下した大著。而して原價計算上原價上の理論の根柢に置いたことは大きな特色の一つである。

原價計算の要領	早稻田大學教授　井上達雄著	一・七〇
商店金融概說銀行簿記提要	吉田良三著	二・二〇
外國爲替の常識銀行簿記大綱	內野一太郞著　木村和三郞著	一・三〇　二・五〇
貿易會計工業簿記提要	菅谷重平著　吉田良三著	一・八〇　二・五〇
實用手形・小切手の知識會計精義	小西彥太郞著　岩垂至著	一・二〇　二・五〇
興亞貿易論商業組合實務解說	古屋美貞著　水野菊一著	三・二〇　三・二〇

法學博士　田村德治著
日本と新文化建設　B6判三五六頁　價二・五〇
本書は大東亞共榮圈をして有史以來の最高文化圈とする理念を明示した著作。

東洋文化と西洋文化	田村德治著	一・八〇
大田垣蓮月	成瀨慶子著	二・〇〇
日本の學としての日本倫理學	原田武雄著	二・〇〇
科學人の世界	湯淺明著	一・二〇
落合直文	矢吹弘史著	二・八〇
科學する乙女たち	湯淺明著	一・八〇

—新刊月報・圖書目錄進呈—
東京市小石川區音羽町　同文館

鶴見祐輔著
後藤新平傳　臺灣統治篇　上
B6判上製三七六頁　價二・〇〇　〒一〇
五月下旬發賣
科學的政治家後藤伯の正傳出づ！伯の生涯は實に新政新規の連續であり、新工夫新經綸の集積であつた。殊に伯の一生に於ても其の創造力の發揮せられたるは、臺灣と滿洲との時代であつた。日本にとつて政府の試みとも云ふべき植民地統治において、伯の獨創力は最も遺憾なく發揮せられたのである。伯の新地統治の事業の中より、今の日本に對する無限の示唆を汲みとるであらう。

後藤新平傳　統治篇下（六月下旬發賣豫定）
新領土統治十年の治績は下卷にて愈々佳境に入り、大政治家の面目躍如。

近刊
太平洋協會編
ソロモン諸島とその附近—地理と民族—　A5判上製七・〇〇（六月下旬發賣豫定）
日米決戰場たるソロモン諸島附近の地理、民族等に關する研究は皆無に等しい。本會はこの地域を、自然科學、文化科學の兩面に亙り日本最高の權威者を動員して、その苦心研究の結果を集大成せる唯一の學術的權威書。

東京市日比谷　太平洋協會出版部　振替東京一九一七一

立野信之著　後方の土　價一・五〇　〒一五
柏崎遺生著　伊太利案內　價一・八〇　〒一五
正光著　全面和平への路　價一・〇〇　〒一五
內山著　スペンサー　支那の三姉妹　價一・八〇　〒一五
京林屋夫著　兵隊とともに　價一・四〇　〒一五
米川正夫譯　パチーギン　北氷洋漂流記（下卷）　價一・三〇　〒一五
ブリツフォールト著　英國は沒落する　價一・〇〇　〒一五
リヒトホーフエン著　荒鷲の母の日記　價一・六〇　〒一五
德永直著　先遣隊　價一・五〇　〒一五
火野葦平著　兵隊について　價一・〇〇　〒一五
松枝茂夫譯　周作人隨筆集　價一・三〇　〒一五
米內山庸夫著　蒙古の理想　價一・二〇　〒一五
野村秀夫譯　亞成層圈飛行　價一・〇〇　〒一五
小松清著　沈默の戰士　價二・〇〇　〒一五
ユーワ著　本國立也譯　戰場の乙女　價一・八〇　〒一五
山本實彥著　支那事變（北支の卷）　價一・六〇　〒二〇
發行所　東京市芝區新橋七丁目　振替東京八四〇二番　改造社

イルゼ・プレッシュ・リーベ女史著
ナチス黨中央出版局發行
石川準十郞著
決戰下の獨逸婦人—銃後活動の全貌とその業績—　B6判二二〇頁　價一圓二十錢　〒一四
獨ツ開戰後二ケ年に亙り、ドイツ婦人の銃後活動の具體的記錄書。家庭に於ける國防的本務を始め凡ゆる職場に於ける女子の役割、防空、銃後日本婦人の必讀書。
ヒトラー「マイン・カンプ」研究（合冊普及版）　B6判八〇〇頁　實價二・六三　〒36
ヒトラー「我が鬪爭」の讀本の時代は去つた。今日のドイツを知りヒトラーを通じて我々の進むべき道を示したのが本書である。
J・ネール著　竹村和夫・伊與木茂美譯
ネール自敍傳　上卷　B6判五百余頁　實價二・九九（稅共）
本書は獨立を問ふインドの經典と仰がれ數百萬のインド青年をして「獨立インドの偉大なる世界的使命」のため死を辭せしめなかつたものである。大川周明博士が本書を絕讚、烈々火を吐く序文を寄せられた。
東京市麴町區內幸町　振替東京二四〇二
國際日本協會　發行

社説

帝國海軍の綜合戰果

記念日の發表を見る

大東亞戰爭開始以來昨日の海軍記念日迄の海軍綜合戰果が大本營より發表されたが、戰艦十三、空母十一を始め屠つた敵艦艇○○五、船舶撃沈破四八四、船舶拿捕五〇三、飛行機撃墜破四八二六と、吾々國民が今更ながらその形大なる數字に驚歎せざるを得ない。

而して、斯くの如き敵戰力の破碎と同時に、東亞に於ける敵の重要なる戰略據點や資源地帶の大部分を占據し、之を以て我が戰力を無限に培養して次に備へる史上空前の偉業をなし遂げつつあるが、申すまでも無く之は、三十八年前の日露戰爭直後から加へられた英米の壓迫に對する隱忍苦鬪の積み重ねたものであり、又帝國海軍ならでは斷じてなし得ざる努力の結果なることを銘記すべきである。

更に、如上の大戰果は大東亞戰爭に於ける勝利の基礎となつて行くことは素よりであるが、心すべきは之でもまだ絶對なものでは無く、場合によつてはこの大戰果が反對に不幸な結果を招く原因とならないとも限らないことを知らねばならぬ。何となれば、斯かる赫々たる大戰果に國民の凡てが陶醉し、戰爭を安易なものとする觀念の下に、敵を侮り油斷にその日を送るならば、それは軈て敵の反撃に屈する基となるは勿論だからである。

されば、この大戰果をして眞に全勝的なる勝利の基礎たらしむるには、今後に於ても同じく國民が一億一心戰力增强に凡てを集中せねばならない。殊に帝國海軍のこの大戰果が、前にも述べた如く決して偶然では無く、日露戰役以來過去三十七年間、凡ゆる苦難と鬪ひ間斷無き努力を續けて來たその努力の結晶であることを知るならば、この際寸毫の油斷も許さず、益々以て努力精進せねばならぬことを知り得るであらう。

帝國海軍は既にこの大戰果をあげるとともに、兜の緒を締めて今後に備へてゐるが、國家總力戰の近代戰爭に於ては單に軍のみがこの心構へを以てしたのでは完全なものといふことは出來ない。國民も亦一人の例外も無く軍と同樣の心構へとなり、戰力の增强に努めて前線將兵をして些かも後顧の憂へ無からしめねばならないのであり、斯くして始めて今日迄の戰果を決定的勝利の基礎たらしむる事も出來るとともに、山本前司令長官を始め幾多忠烈の英魂に應へる所以なのである。

朝鮮米價格の改訂に就て

內地産米に對しては、過般石當り生産者手取り十三圓五十錢の引上げを見たので、臺灣米、朝鮮米についても何らかの措置を見るものと豫期されてゐたが、果然朝鮮米に對して先づ消費者負擔三圓國庫負擔金九圓計十二圓の引上げを決定した旨發表された。

斯くして、朝鮮米の生産者手取りは從來四十四圓であつたのが、一躍五十六圓に引上げられた譯であり、過去の米價最高値五十七圓に僅々一圓餘の開きを殘すのみであるが、右は東京市場の最高値であつたから、朝鮮現地に於ては未曾有の高値となり、半島農民をして奮起せしむるとともに、增産に資するところ亦鮮少ならざるものがあるであらう。

而して、本島蓬萊一期米についても、近日開催される米穀移出等委員會に諮問の上、決定される段取へられるが、その前に本島生産者として心得て置かねばならないことは、國家が斯くの如き大きな犧牲の下に買上げ價を引上げるのは生産者の負擔を輕減せんとするためであり、決して農村方面に新たな購買力を起さんがためで無いことは無論である。寧ろ、國家政策の建前としては農村方面の購買力をも出來るだけ吸收し、之を戰時に向はしめんとしつつあり、從つて若しこの買上げ價引上げにより農村に多少とも新たな餘裕が生じたならば、あげて之を貯蓄に振向け、以て國債消化の國策遂行に協力すべきである。

又、生産資材の高騰に對しては、單に生産者の價格引上げによつて之を賄ふのみで無く、生産費それ自體を引下げることにも努力せねばならない。即ち、金肥の節約により、或は又勞力は能ふ限り自家勞力による等その他凡ゆる點に新たな創意と工夫をなすべきであつて、戰時下の農民が價格の如何によつてその生産量を增減するといつた如き、功利的な舊來の心構へは此際一擲し、以て生産擴充に再出發すべき意ひを新たにせねばならないであらう。

躍動的伸展に驚歎

内務省委員、貴衆兩院議員

決戰下の臺灣を視察

本島の生産擴充、食糧問題調査の爲め來島の內務省委員貴衆兩院議員一行は二十六日夜一先づ草山大屯ホテルに入つた、二十七、八兩日臺北附近の工場其他を視察、近く歸京するが一行の眼に決戰下の〝臺灣〟が如何に映つたかを聽く

重點的施策

橋本貴族院議員談

貴族院議員（食糧問題調査）橋本實斐伯の談

問　生産擴充如何

答　切詰めた日程で廻つたので……

問　食糧增産をどう見るか

答　米の增産當初の增産計畫通りには行つてゐないことは率直に認めるが天候その他の已むを得ない事情でさうなつたことは……

食糧對策の鍵

川崎衆議院議員談

衆議院議員（食糧問題調査）川崎末五郎氏談

二十年前臺灣總督府の保安課長を勤めたことがある、當時からすれば現在の臺灣は隔世の感がある……

農業移民問題

今牧衆議院議員談

衆議院議員（食糧問題調査）今牧嘉雄氏談

今回我々一行は內務省委員として……

偉大なる民族の努力の賞揚……

犧牲者を出したことを忘れてはならぬ……

米價問題を語る

中平食糧局長

中平總督府食糧局長は內地の米價引上げに伴ふ臺灣の米價引上げに關する用務を帶び客月二十七日上京、政府と折衝中の所、二十五日の閣議に於て決定を見たので二十六日空路歸臺……

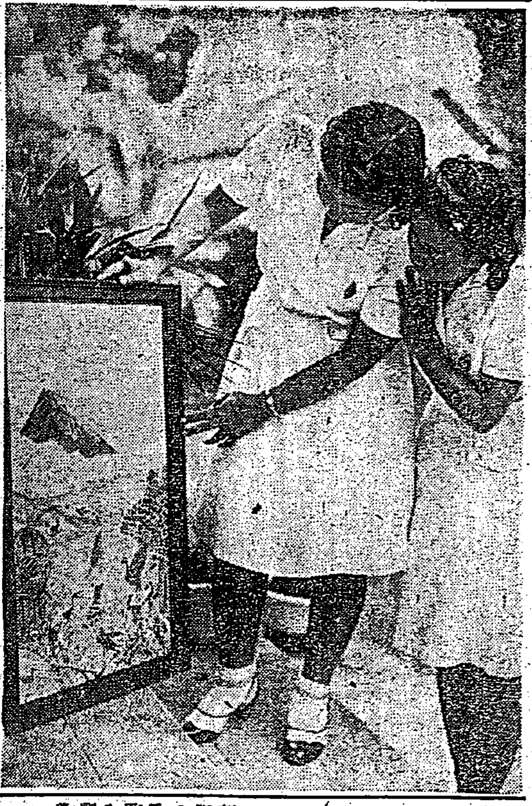
船渠の建設

別所衆議院議員談

衆議院議員（生産調査）別所喜一郎氏談

總ゆる工業が企業上の利益のみに捉はれ目先の生産を急いで……

日本の政治には……



繪筆に託す原住民の感激

セレベスの東南方の一小島、ムナ島の一原住民の畫家が大東亞戰一周年記念日に、日本人の忠誠、勇敢、感謝の氣持を畫紙に託して描きあげた富士山の下に……をこの程セレベスのマカッサル○○司政官に贈つた

【寫眞は贈られたムナ島原住民の畫】

農工業調和

新構想への對策

木材の重要性（中）

效率使用と消費統制

一石でも一本でも多く增産することは固より主として生産關係に携はる總ての者の愛國心に俟たねばならぬ……

木材　生産統制に依り……

生産及び配給統制の……

茲に　立遅れの感があつた……

以上に依り戰爭遂行上木材の……（完）

朗報・黑鮪現はる

本島東北近海に新漁場

月末頃家庭へ

外地重點産業增强

內外地連絡委員會

【東京支社特電】戰力增强と生産擴充は十八年度に於ける內外地の一致せる重要なる課題であるが、內務省では……來る二十八日內務省會議室において委員會を開き……

洋服生地配給整備

對策委員會を開催

菓子販賣組合解散

新竹州のシトロネラ油製造對策

市街地信組の前進

本島の五十六組合決戰の構へ

逐次、增加の一途

本島の産組貯金殘高

市街地信組業績（四月末現在）

臺灣石炭總會

强力的推進

『決戰下の統制經濟』

市況（廿七日）

兜町前場況

東京短期前場

東京長期前場

東京短期後場

東京長期後場

東京國債前場

東京銀行實株

東京長期總取組

大阪短期前場

大阪短期後場

三圓で千圓

國民皆保險・簡易生命保險

今度の保險は身を守る保險
これは米英撃滅の勝つ保險
政府の扱い良心こもる保險
老人も幼兒もはひれる保險

一等兵舍

臺北市京町

決戰貯蓄に！

掛金の安い　配當の多い　利源配當附養老　昭和新種養老

安田生命

東京日本橋區小網町二（東京京橋内幸町）

東郷會發足す

常住座臥戰場精神を肝に銘じ

佳き日・發會式を擧行

偉勳享け臣節盡す

有馬東郷會會長祝辭

第四回決算公告

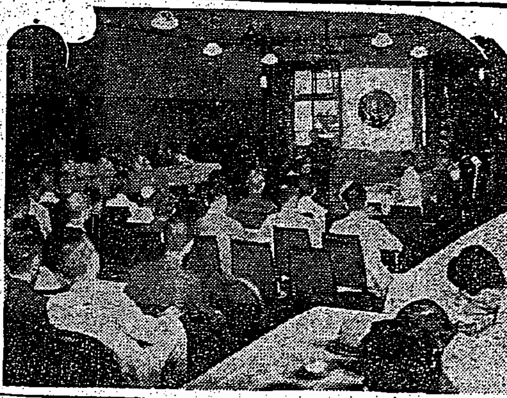
第二回決算公告

第拾六回決算

東郷會發足す

常住座臥戰場精神を肝に銘じ

佳き日・發會式を擧行



寫眞は佳日を期して發會した東郷會

東郷元帥の遺德を欽仰し日本精神を[illegible]以て國民思想を[illegible]殉國精神を高揚する目的で設立を見た東郷會臺灣本部發會式は第三十八回海軍記念日の佳日二十七日午後三時から臺北鐵道ホテルで盛大に擧行された、來賓として[illegible]司令官代理樋口參謀長、[illegible]司令長官代理伊藤[illegible]、[illegible]石田[illegible]、西村文教局長、梁井臺北州知事、[illegible]臺北市長が臨席市内主なる官民百餘名[illegible]東郷會臺灣本部側增田本部長、[illegible]理事以下理事[illegible]が參列定刻嚴肅な國民儀禮を行つて[illegible]式に移り增田本部長から[illegible]理事に手交されそれより[illegible]

[illegible]て增田本部長[illegible]ある東郷元帥の[illegible]日本海海戰に[illegible]せられた「皇國の興廢この一戰にあり各員一層奮勵努力せよ」との激勵の辭は[illegible]國員のみが[illegible]く國民全部が常住座臥この心を心としこの時局に於てこの文字を肝に銘じて進むべき一大[illegible]である、本會[illegible]本會の[illegible]

神明に[illegible]國民の[illegible]援助を得てこの[illegible]を全うしたい旨の力強い挨拶があり終つて長谷川總督（森田總務長官代讀）安藤軍司令官（樋口參謀長代讀）高木[illegible]司令長官（[illegible]）[illegible]代讀）廣谷臺北市長、有馬東郷會會長（[illegible]代讀）の各祝辭があり嶋田海軍大臣の祝電披露あつて[illegible]聲の萬歳を[illegible]午後四時過ぎ閉式した、[illegible]臺北[illegible]提供の映畫「海ゆかば」の試寫が行はれた

皇民魂を昂揚せよ

長谷川總督祝辭

本日茲に財團法人東郷會臺灣本部の設立せらるるに當り所懷の一端を述ぶる機會を得たるは余の最も欣快とする所なり、惟ふに本會は[illegible]

現下にも堅強させる、定[illegible]國民[illegible]の後[illegible]臺北市[illegible]の[illegible]拍手を浴びて[illegible]起ち日本海海戰の大捷の依つて來る所以を[illegible]アリユーシヤン方面南太平洋方面ビルマ方面に[illegible]されてゐる[illegible]の[illegible]を說き最後に山本元帥の戰死は大なる打擊ではあるが元帥の精神は過去三十年間に我が海軍將兵によつて承け繼がれて居り、元帥を失つた事によつて帝國海軍は寸毫も[illegible]もせず將兵は打つて一丸となり米英艦隊に邁進する事を[illegible]く信じてゐると[illegible]決意を[illegible]して島民の[illegible]を促して四十分間

横轉逆轉木の葉返し

實戰宛ら特別飛行

島都の空飾る海軍色

全世界を震撼せしめた無敵海軍の大戰果に沸き立つ島都市民の歡呼に應へて海の荒鷲の贈り物――海軍記念日行事中の白眉、海軍機の特別飛行は二十七日午後一時半から島都上空で行はれた、[illegible]の如く、天翔ける快速戰鬪機の鮮かな編隊飛行、さては[illegible]宛ら組んづほぐれつ秘術を盡して亂舞する空中戰、横轉、逆轉、[illegible]、次々と展開される妙技に全市民は手に汗を握つて凝視する、島都必殺、あの快速で、あの卓越した技術に無敵の海軍魂あればこそ輝かしい戰果を擧げ得たのだ、月月金金の猛訓練、

思へば[illegible]時代の帝國海軍將兵の血のにじむ猛訓練がその蔭には秘められてゐるのだ、妙技に魅されて空を仰ぐ市民は感謝の聲を放ちつつも帝國海軍將兵に無限の感謝を捧げるのであつた、斯くて特殊飛行は一時間に亙つて展開され、市民の歡呼に送られて姿を沒したが、間もなく午後三時には數十機から成る大編隊飛行隊が雄姿を現はし、[illegible]な陣容を組んで島都上空を一周して市民の歡呼に應へた

聖將山本に續け

奉壯團が聲明を發す

大東亞戰爭勃發以來緒戰の赫々たる戰果は勿論その後アリユーシヤンから西南太平洋に至る[illegible]作戰に[illegible]として[illegible]一線[illegible]に立つて[illegible]を揮るつて居た山本司令長官は遂に南溟の空に散華した、全國民[illegible]の山本元帥の壯烈なる戰死は我等一億國民が山本元帥の身を以て示した[illegible]の烈々たる[illegible]は「擊ちてし止まむ」の[illegible]を[illegible]「元帥に續け」と期せずして國民[illegible]の血と魂は[illegible]

[illegible]

[illegible]の、また全國民の戰爭生活實踐の魂の合言葉たらしめよう。

五月二十七日、本團は內地海[illegible]壯年團に呼應して全島一齊の[illegible]天動員を決行し、この言葉を元帥の英靈に、神の御前にお誓ひ申した、元帥に續かむ一億民の[illegible]者、奉壯と共にこの言葉を日々の戰爭生活に實踐しよう

感銘は深し

講演と音樂映畫の夕

第三十八回海軍記念日行事である[illegible]講演と音樂映畫の夕は皇奉臺北市支會、東郷會臺灣本部並に海軍協會臺北州支部共同主催の下に廿七日午後七時三十分から臺北市公會堂で開催された、武裝行進に[illegible]行進に[illegible]海戰の大編隊飛行と[illegible]擧げられた一大[illegible]に米英擊滅の[illegible]を滿らせた市民は定刻前から續々と會場に押掛け、さしも廣い公會堂も立錐の餘地がない程の滿員盛況振りである、會場正面には大軍艦旗を中心に日本海海戰、[illegible]ハワイ海戰と皇國の興廢を賭した二大決戰に[illegible]揭げられた[illegible]Z旗が飾られ[illegible]

徹せよ東郷精神

[illegible]高木中將祝辭

東郷元帥の[illegible]を目標とする[illegible]

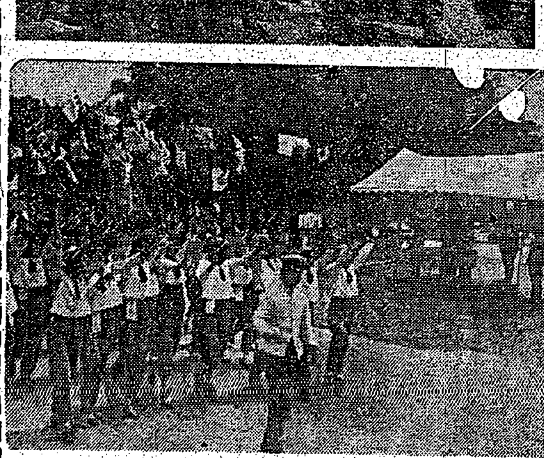
[illegible]

繼げよ聖將の遺德

安藤軍司令官祝辭

本日茲に東郷會臺灣本部の發會式を見たるは非常大時局に直面し[illegible]

[illegible]



乙女の胸も勇み立つ

男子の心は戰場へ

學徒賴母し海の記念日

[illegible]の各學校の[illegible]「海[illegible]」の合唱があり最後に上映[illegible]「ハワイ、マレー沖海戰」を上映[illegible]（寫眞は伊藤武官の講演）

[illegible]にし、いま大東亞戰爭下に迎へた第三十八回海軍記念日の二十七日、島都在校の中等學校以上の學生、生徒並に海洋少年團員[illegible]約一萬數千餘の若人は午後一時四十五分新公園に集合、[illegible]一時より[illegible]

必勝の氣魄もて戰ひこれ銃後戰

齋藤さん臺中州下へ

【臺中電話】[illegible]の第一線における皇民奉公運動の[illegible]のため二十七日[illegible]下した[illegible]村田[illegible]を[illegible]午後二時[illegible]に入り村田[illegible]林部下における皇民奉公運動[illegible]を聽取したのち[illegible]が[illegible]二十六日[illegible]して居るとの[illegible]して[illegible]

[illegible]この運動を率ゐる諸君の力が[illegible]いたものと思ひこの[illegible]の言葉をのべると、うず高くつまれた[illegible]の山を見て

この[illegible]の一つ、一つに[illegible]の[illegible]い汗がしみ込んでゐると[illegible]今日は海軍記念日であり今次の大東亞戰爭と日露戰爭の日本海海戰の[illegible]と同じ様に國運を賭しての大戰爭であることは[illegible]存知の通りで、我々は海の上においても陸の上においても世界無比の皇軍を絕對に信頼して[illegible]上ではこの日を日本海海戰と同じく[illegible]陸上では[illegible]の大勝利を獲得する事を信じてゐる、しかし今度の戰爭は[illegible]

懸命に勵め

貢旗庄部落て農民鼓舞

それより齋藤本部長は[illegible]ズボンの[illegible]で[illegible]支部長、村田郡支會長の案內で大村庄、[illegible]部落に自動車を走らせ、南國の豐かな[illegible]を浴びて[illegible]かな風に黃金色の[illegible]

[illegible]

偉勳享け臣節盡す

有馬東郷會會長祝辭

[illegible]

新竹の海軍記念日

【新竹電話】新竹市に於ける海軍記念日の二十七日午後三時から[illegible]

決戰紙芝居

佳日の夜、島民へ贈物

決戰下に迎ふ第三十八回目の海軍記念日、夜の臺北市民に贈る贈り物、臺北市[illegible]では午後八時頃より臺北市內、太平町[illegible]、西門市場、龍山寺[illegible]、建功神社、[illegible]その他數ヶ所で紙芝居で海軍思想を昂揚、[illegible]させようと「吾れは海の子」「[illegible]」「海への[illegible]」「[illegible]の母」「第二[illegible]丸」「[illegible]ぞ米英を」の[illegible]をもつて集る市民に呼びかけ、「山本元帥につづけ」と[illegible]の前途を祝福した

[illegible]以て自ら最前線に起つて[illegible]に送り[illegible]した山本元帥の壯烈な戰死は一億國民に[illegible]つあるが[illegible]

建艦獻金に日婦蹶つ

颯爽街頭へ進出

無敵海軍[illegible]の身を[illegible]

中國人の美擧

[illegible]二十七日、中國[illegible]

溪湖街へ

[illegible]

淋巴腺結核（るいれき）

弱い方には『[illegible]專門藥』が好適です！

[illegible]

第參期決算公告

新竹林產興業株式會社

[illegible]

第四回決算公告

第三期決算公告

樹林運送株式會社

興南鑄造株式會社

[illegible]

今日の映画と演藝

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界　基隆世界

台北州合同興業

本日は公休日に付休館致し候　東寶國際館

基隆の映画　基隆劇場　中央劇場　旭劇場

[illegible]

撃ちてし止まむ

新發明の防臭劑の出現！

ワーミン芳香油

最新式芳香性便所臭氣止

發賣元　佐野商行

病氣休診中ノ處全快致シ本日ヨリ診療ニ從事仕リ候

臺北市明石町二ノ一

藤井齒科醫院

藤井昇一

內科　小兒科　放射線科

淺井病院

電話二四〇二番

產婦人科

福生堂醫院

電話四六二六番

齒科

澤熊齒科醫院

電話七六八一番

齒科

須永齒科醫院

臺北市末廣町一ノ二

電話九三六四番

會葬御禮

吉島又吉

親戚一同

會葬御禮

[illegible]

父劉上禎儀豫て病氣療養中の處藥石無效廿七日午前十一時自宅に於て永眠致候間此段謹告仕候也

[illegible]

男　劉開應

劉廷陵

孫　劉瑞祥

母張吳氏儀[illegible]

張地澤

張蜈棋

[illegible]

臺北州警部伊藤一朗儀五月二十七日午前九時心臟痲痺ニテ急逝[illegible]

[illegible]

津田健治

廣告は宣傳の近道なり

第二回決算公告

第拾六回決算公告

大同商事株式會社

臺灣茶輸移出統制株式會社

[illegible]

米英撃滅鐵石の決意

繰展ぐ海軍記念日行事

高雄市　【高雄電話】二十七日は一億國民の永久に記念すべき海軍記念日だ、過ぐる三十九年前のあの日の大捷を偲び大東亞戰爭勃發以來の赫々たる戰果に思ひを致して國民等しく感謝を新にし無敵海軍への感謝の赤誠は全國民の胸に炎と燃えつつあるが、この佳き日を迎へて港の都高雄二十一萬市民の感激は物々しいものがある市官民一致心からの祭ひを以て市役所前廣場には盛況の武道大會、相撲大會、[illegible]及び高雄館には『海軍記念日』の上映、市内主なる商店飾り窓には海軍の繪畫展、夜は市營[illegible]にて鈴木大佐の大講演會、又高雄川では艦艇の勇姿を偲ばせる模型艦艇爆破並に短艇競漕、大空には〇〇航空隊の颯爽たる勇姿並に華やかな大編隊飛行等陸に海に空に豪華なる海軍繪巻を展開し軍官民和樂の内に榮えあるこの記念日を送つた

〇〇航空隊　【〇〇電話】大東亞戰の戰果輝く中に迎へる二十七日の光輝ある海軍記念日に當り〇〇海軍航空部隊では二十七日午前九時より隊内に於て特殊飛行を公開、並に市内中等、國民學校生徒兒童との交歡記念體育訓練會が催され、知事、〇〇、〇〇兩部隊長以下軍官民多數が參集し航空隊〇〇部隊長臨場の下に無敵海軍航空兵と學校生徒、兒童は海軍記念日を祝へつつ青空に飛べる飛機旗の下に元氣一杯交歡體育訓練が繰展げられ水泳及排球等一般運動遊戲の敢鬪訓練が繰り擴げられた、又十一時からは無敵海の荒鷲は一斉に離陸して大空に舞ひ上る攻撃機編隊機の空中戰から急降下[illegible]

臺南市　【臺南電話】臺南市では二十七日の第三十八回海軍記念日を迎へ海軍日本の揺ぎなき礎石を確立せる光輝ある先人の偉業を記念すると共に大東亞戰下赫々たる戰果の下に撃滅米英戰へと邁進する島國民の興隆と決戰[illegible]國民の海軍思想普及並に海軍特別志願兵制度[illegible]及諸施設[illegible]、午後四時よりは臺南神社大前に於て軍人、官民代表、羽鳥市長以下[illegible]各官衙、銀行會社、各學校、婦人團體、各區世話役以上參加して大東亞戰爭完遂祈願祭を執行、午後八時からは公會堂に於て臺南州[illegible]少佐を迎へて講演會を開催又大日本婦人會臺南市支會では州廳前の臺南神社外苑に休憩所を設け果物や飲み物の接待等を行ふ一方會員が街頭に

嘉義市　【嘉義電話】嘉義市では二十七日午前五時嘉義公會堂に於て市内各寺院宗教團體が聯合の下[illegible]れ神社に參拜して『山本元帥につゞけ』と米英必殺の意氣沖天、續く第三十八回海軍記念日を迎へた[illegible]に、行父ら乗合自動車に、人力車に日章旗が、軍艦旗が、五月の風に翻へりはためき、且接各の大通には日章、[illegible]クラブ員が早朝からモンペ姿も凛々しく街頭に

臺中市　【臺中電話】大東亞戰下第二回目の住き日たる二十七日、臺中市では午前七時半臺中神社外苑廣場に於て中等學校生徒參拜の下に海軍記念式を執行感謝の[illegible]終了後[illegible]大會を挙行、八時半からは同廣場にて[illegible]一中道場では柔道大會が夫々繰り[illegible]

馬公街　【馬公電話】二十七日午前十時から[illegible]其他[illegible]臺灣[illegible]の官民各團體の祝賀行列[illegible]

時ぞ今海の志願兵

さあ海へ！馬公で二十八名

【馬公電話】「今こそ吾らの念願が叶つたぞさあ海へ行かう」――海軍特別志願兵制度施行決定の快報一度び到るや澎湖廳總務課兵事係には「是非とも採用して下さい」「壯丁の萬分の一にも報いなければ申譯ありません」と時を移さず若人の決意の程も現はれる志願者を同廳兵事係に提出、係官もこの頼母しい島國青年の愛國心には痛く感動したといふ

山田健（カラオ社）高村猪（タイヤフ社）以上大溪郡、岡本龍一（竹東部タイヤカン社）

〇〇航空隊

日婦新竹支部の素人劇隊

三十日初慰問

【新竹電話】大日本婦人會新竹州支部では新竹市支會と共同主催で來る海軍記念日を迎へて祝賀を兼しまたかねて同會に於て各方面慰問の為の素人劇隊結成の申合せをなし以來稽古を重ねてゐたが[illegible]三十日新竹陸軍に於て陸海方面の慰問映畫及び舞踊の會を催す事となつてゐるが午前九時、午後二時と八時よりの三回に亘つて行はれる

警備府で祝賀會

佳き日を祝ひ嚴肅盛大

【高雄電話】高雄警備府では光輝ある第一回の輝かしき海軍記念日を迎へ二十七日午後時半から府内の大食堂で祝賀會を開いた、主催者側として高木司令長官、島崎參謀長、[illegible]將兵が出席、坂口州知事、高雄地方法院上席檢察官長、右田府評、三谷商工會議所會頭其他官民代表多數が參列、高木司令長官は「先輩に負けない[illegible]の協力を得て隆昌に勝利を得たい」と挨拶を述べ盃を擧げて聖壽の萬歳を奉唱坂口知事は官民を代表して「百萬高雄州民は我が海軍の威[illegible]

堆肥增產督勵に

梁井知事蘭陽行脚

【宜蘭電話】堆肥增産督勵指導のため[illegible]梁井知事一行は二十五日午前九時宜蘭着[illegible]

武勳輝く戰死者

大溪竹東兩郡出身者發表

【新竹電話】南方で散華した第二回高砂義勇隊新竹州隊の名譽の戰死者及び戰病死者の中、大溪、竹東兩郡下出身者の一部二十五名が二十六日左の通り發表されたが柴山警察部長、井上理蕃課長は二班に分れて二十六日朝、大溪郡下に入山、遺族を弔問した

△戰死者　濱川[illegible]（キャユバイ社）中村[illegible]（[illegible]社）[illegible]

△戰病死者　[illegible]

義勇隊員遺族を弔問

警務局長臺中、高雄兩州へ

今次大戰に無敵皇軍の將兵にも劣らぬ敢鬪力を顯れる高砂義勇隊の活躍は今や一億國民感謝の的となつて居るが、山内警務局長は名譽の戰死を遂げたこの高砂義勇隊員の遺族を懇ろに弔問すべく左記日程により三十日より來月一日にかけ先づ臺中、高雄兩州下の遺族弔問を行ふことになつた、

△三十日午前九時三十分臺北發急行列車[illegible]同午後五時五十分臺中より高雄へ△六月一日午前九時高雄發、[illegible]で弔問、同夜十時十分高雄發、臺北歸北

大湖郡出身戰死者

【新竹電話】大湖郡の第二回高砂義勇隊員として出征南方戰線で護國の鬼となつた勇士三名の氏名が次の通り發表された

田村[illegible]（戰死）[illegible]（戰病死）竹村[illegible]（戰病死）

飛行機造成資金

臺南州民の赤誠けふ獻納

【臺南電話】今次大東亞戰爭は遂に決戰段階に突入し刻々たる大戰果があげられ[illegible]は大なるものがあるが、臺南州民の赤誠[illegible]

海の鳳雛を鍛へる（七）

太平洋の生命線確保

心技一如の工作訓練

工作學校の巻

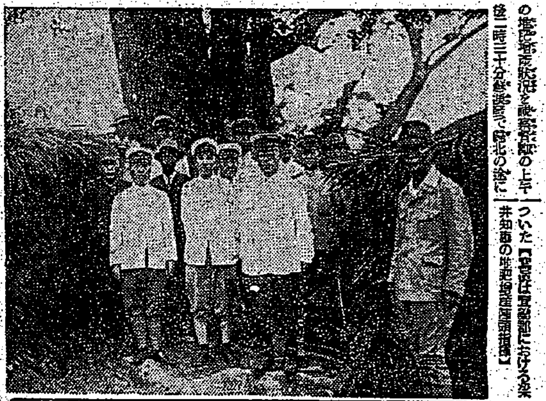
歐米國が世界支配の野望を燃やすかのやうに九十年前のペルリ艦隊が初めて日本の土を踏んだ久里濱に[illegible]若木の香も新しい校舎がある、一昨年の四月工作學校から分離して工作の[illegible]をあげた「海軍工作學校」の[illegible]平洋の生命線を確保して[illegible]の[illegible]に最後の勝利[illegible]工作[illegible]

この半永久的陣地を[illegible]で[illegible]工作兵である[illegible]

心技一如　この精神の溢るる[illegible]

「盡忠報國」小旗に血書

お山は歡呼、海軍志願



柴山部長遺族弔問

海に憧れる青年を激勵

【新竹電話】[illegible]

東港郡民一萬

圓建艦獻金

【東港電話】[illegible]

部落民一丸の貢献

臺中州貢旗部落

上下一體聖戰に體當り

防空に關し熱心に協議

新竹市臨時市會

【新竹電話】新竹市臨時市會は二十六日午前十時より市會議事堂に[illegible]

奉公班より空の防人へ

【淡水電話】[illegible]

赤誠の獻金

軍司令部（[illegible]）

國防獻金　[illegible]

ラヂオ

第一放送

第二放送

[illegible]

結核療法の新道

肺結核、肋膜、腹膜、臨結核

和オネドラミン

[illegible]

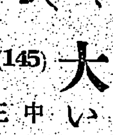
恤兵金　[illegible]

獻品　[illegible]

國防獻金　[illegible]

大いなる祭（145）

中野實作　三芳悌吉畫



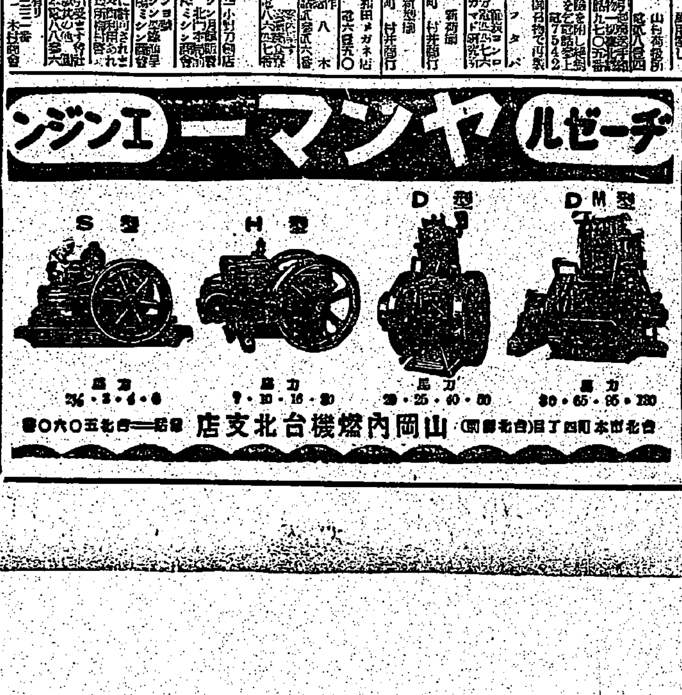
ふるさと（四）

[illegible]

[illegible]

案内廣告

理髪　求職　求タイピスト　香港　見習　車夫　中學　建築　監視　タイピスト　タイ　見習　交換　女事　洋裁　譲る　電話　引越　住宅　家交　特賣　犬猫　印畫　寫眞　ライ　中古　擴聲　ピアノ　梅肉　糖尿　蟲下し　引越　引越　陸上　京染　綴織　玄米　札入　ハンドバッグ　メガネ　冷藏庫　斷食　刀劍　ミシン　ミシン　結婚　邦文タイプ　ニカ



チーゼル ヤンマー エンジン

山岡内燃機臺北支店　臺北市本町四丁目

有田音松謹製專門藥

腫病　全快者の發表

中風藥　胃腸劑　治淋劑　驅毒劑

各地　有田ドラッグ

宇津救命丸

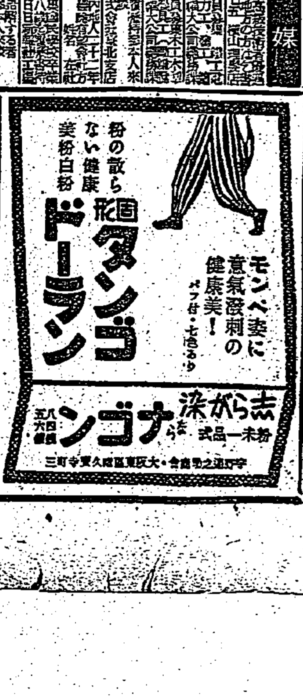
カラダハ ツヨイ　チカラモ ツヨイ　宇津救命丸デ　ソダツタ ボクラ　ボクラハ トオアノ　ニッポン ノコドモ

腦溢血豫防に

中風

キリシン

今津化學研究所



モンペ姿に意氣潑剌の健康美！

タンゴ　ドーラン

志から生まれ　タンゴ